

国公立大 英語認定試験 利用状況一覧

(8/9 現在、河合塾調べ)

2021年度の一般選抜における各大学の大学入試英語成績提供システムの参加要件を満たした英語資格・検定試験（以下、英語認定試験）の利用状況をまとめました。
 英語認定試験の受験を必須としない大学は、「提出」欄に「任意」を、利用しない大学は「×」を付しています。
 出願要件：英語認定試験を出願要件として利用する場合「●」を、英語認定試験以外の要件でも出願可能な場合は「▲」を付しています。出願の基準が判明している大学は「CEFR基準」欄にCEFRレベルを記載、出願要件ではあるがCEFRレベルは問わない場合は「-」を付しています。
 点数化して利用：英語認定試験の成績を得点に換算して合否判定に利用する場合「●」を付しています。「配点」欄には英語認定試験の最大の配点を、「CEFR別得点」欄にはCEFRレベルごとに与えられる得点を記載しています。
 備考欄には利用方法の補足などを記載しています。
 ※掲載内容は変更される可能性があります。最新情報は各大学公表資料でご確認ください。

大学(学部等)	日程	提出	出願要件		点数化して利用							備考							
			CEFR 基準	配点	CEFR別得点														
					C2	C1	B2	B1	A2	A1									
旭川医科(医-医)	前・後		●	A2															
旭川医科(医-看護)	前・後		●	A1															やむを得ない事情がある場合は、高等学校等による証明書での代替可
小樽商科(昼-数学重視枠)	前		●	-															やむを得ない事情がある場合は、高等学校等による証明書での代替可
小樽商科(昼-数学重視枠を除く)	前・後		●	-	●														
帯広畜産	前・後		●	A1															共通テスト英語(200点)を上限に加点
北見工業	前・後	任意			●	※													
釧路公立	前・中	任意																	※前期50点、後期40点(未提出は0点)
公立千歳科学技術	前・中				●														調査書等の情報と合わせて合否判定時の資料として活用
公立はこだて未来	前・後	×																	
札幌医科	前																		
札幌市立	前		●	A2															利用(詳細未判明)
名寄市立	前・後																		
北海道	前・後	×																	利用(詳細未判明)
北海道教育	前・後	任意			●	40	40	40	40	30	10								共通テスト英語(200～400点)を上限に加点 ※共通テスト英語の配点は学科・専攻により異なる
室蘭工業	前・後				●														
青森県立保健	前・後		●	A1	●	30	30	30	20	10	10	0							
青森公立	前		●																
青森公立	後		●		●	20	20	10	10	5	5	0							成績が提出できない場合は理由書を提出
弘前	前・後				●	40	40	35	30	25	20	10							成績が提出できない場合は理由書を提出 配点は共通テスト英語200点の場合
岩手	前・後				●														配点は共通テスト英語250点の場合
岩手県立	前・後	×																	
東北	前・後	×																	
宮城	前・後				●	50													
宮城教育	前・後		●	A1															配点は共通テスト英語200点の場合
秋田	前・後				●	※													
秋田県立	前・後				●	50													※配点は英語全体の満点の2割 配点は、共通テスト英語がシステム科学技術150点、生物資源科学100点の場合
秋田公立美術	前・中	任意			●	50	50	50	40	30	20	10							配点は共通テスト+2次 950点の場合
国際教養	別	任意			●														共通テスト英語と比較し高得点の方を利用(等級を証明する書類での代替可)
山形(地域教育、医-医)	前・後		●	A2															
山形(医-看護)	前・後		●	A1															
山形(農)	前		●	-															
山形(農)	後		●	A2															
山形(人文社会、理、工)	前・後				●														
山形県立保健医療	前・後																		
山形県立米沢栄養	前・後				●														利用(詳細未判明)
会津(A)	前	×																	
会津(B)	前																		
福島	前・後				●	40	40	40	35	30	25	10							利用(詳細未判明)
福島県立医科	前・後				●														配点は共通テスト英語160点の場合
茨城	前・後				●	50	50	50	50	40	25	10							配点は共通テスト英語250点の場合
茨城県立医療	前・後				●	-	※	※	※	20	10	0							配点は共通テスト英語80点の場合 ※B2以上は共通テスト英語を満点とみなす
筑波	前・後	任意			●	20	20	10	5	0	0	0							
筑波技術(産業技術)	前	任意			●	50													
筑波技術(保健科学)	前	×																	
宇都宮	前・後				●	50													
群馬	前・後				●	20	20	20	16	12	8	4							配点は共通テスト英語250点の場合
群馬県立県民健康科学	前	任意			●														共通テスト英語(200点)を上限に加点 共通テスト英語と比較し高得点の方を利用 英検、GTEC、TEAP、TEAP CBTのみ活用する
群馬県立女子(文)	前・後	任意			●	※													※共通テスト英語の1割程度
群馬県立女子(国際コミュ)	前		●	A2	●	※													※共通テスト英語の2割程度
群馬県立女子(国際コミュ)	後		●	A2															
高崎経済(地域政策)	前・後		●																
高崎経済(経済)	前・中	任意			●														
前橋工科	前・後				●														2次の総点に加点